

あとがき

山梨県総合教育センター
次長 河住 悦久

各学校及び各教育機関におかれましては、日ごろから本センターの諸事業に対し、多大なる御支援と御協力を賜り、誠に有り難うございます。併せて、本センターの研究推進に当たり御協力、御指導くださいました研究協力校、研究協力員、山梨大学、山梨県教育庁の関係各位に厚く御礼申し上げます。

2月20日に開催しましたセンター研究大会には、新型コロナウイルスへの対応が心配される中でしたが、皆様の御理解と御協力をいただき、県内外から約300名の方々をお迎えして無事に開催することができました。今年度は、『やまなしの学び 新たな時代へ～すべては目の前の子どもたちのために～』をテーマとして、基調提案、特別講演、ポスター発表、ラウンドテーブルを柱に開催いたしました。特別講演においては、講師に山梨県立図書館長の金田一秀穂先生をお迎えし、「言葉と教育」の演題にて御講演をいただきました。これからの時代を生きる子どもたちに「思考力、判断力、表現力」を育成することが求められる今、先生から子どもたちがじっくり、そして自由に考える（思考）することの必要性や、考える道具としての言葉の大切さについて多くの御示唆をいただきました。御参加された先生方にとって、明日からの指導に直接生かすことができる絶好の機会になったことと思います。また、ポスター発表では、学校を支援する新しいセンター研究の在り方について御理解していただき、ラウンドテーブルでは、各グループの参加者の皆様に校種や教科の枠を超えて「主体的・対話的で深い学びの授業改善」について情報交換を行っていただき、ここでも多くの宝物を学校に持ち帰っていただけたことと思います。大会の開催に際しては、多くの先生方御協力をいただきました。この場をお借りして、改めて感謝を申し上げます。

さて、本センターは、「学校教育を支援する確かな情報発信源としての総合教育センター」の使命を果たすため、学校教育の振興と充実のために力を注いでいるところです。センター研究では、本年度の研究主題である「資質・能力の育成に向けた学校教育への総合的支援」のもと、センターの研修・調査・相談・情報の各部署の専門性を生かしながら、小・中・高の指導主事が一体となって、学校の要請にお応えできるよう研究を推進してまいりました。新学習指導要領の順次全面実施を目前にして、新たな教育課題への対応が学校に求められております。山梨県総合教育センターでは、知の拠点として今後も学校支援の視点を持ち、センターの研究が現場の多様な教育課題の解決に結びつく実践的研究になるよう、より一層の研究の充実を努めてまいりたいと思います。結びになりますが、本紀要は、各教育機関へのCD配布とともに教育センターホームページへ掲載されます。掲載された研究報告が各学校等における教育活動や校内研究、また研修充実のための一助になれば幸いです。今後とも皆様方の御支援と御協力をよろしくお願いいたします。